

1

よここびにあふれるひと

豊かな心をはぐくみ、 よここびとふれあいにあふれたまち

【関連する主な分野】・・・平和・人権、教育、生涯学習、スポーツ・レクリエーション、芸術・文化、交流

心のやさしさ、学ぶ意欲、生きる力をもったひと、豊かな感性をもったひとが育ち、活発な交流が行われている、よここびとふれあいにあふれたまちをめざします。

達成方針

- 1-①<人間力> 一人一人の心のやさしさ、学ぶ意欲、生きる力をはぐくむ
- 1-②<感性> 生涯学習や文化などを通じ、豊かな感性をはぐくむ
- 1-③<交流> ひと・文化の活発な交流が広がる環境をつくる

一人一人の心のやさしさ、学ぶ意欲、生きる力をはぐくむ

現状と課題

- 将来の先行きが見えにくい社会情勢のなかで、新しい地域社会を切り拓くことのできる人材の育成が求められています。
- 子どもたちを育成する教育の現場では、青少年の規範意識や道徳心、自律心の低下、いじめ、不登校、家庭や地域の教育力の低下など多くの課題を抱えています。
- 基礎学力の向上とともに、一人一人の子どもたちのもつ能力を引き出し、最大限に伸ばすことや、自己実現への支援体制を確立していくことが求められています。
- 成熟した地域社会に向けて、性別や年齢、障害などの既成の偏見や固定観念に捉われることなく、一人一人の個性や能力を適切に活かしていく市民意識と社会のしぐみを育てる環境づくりが求められています。

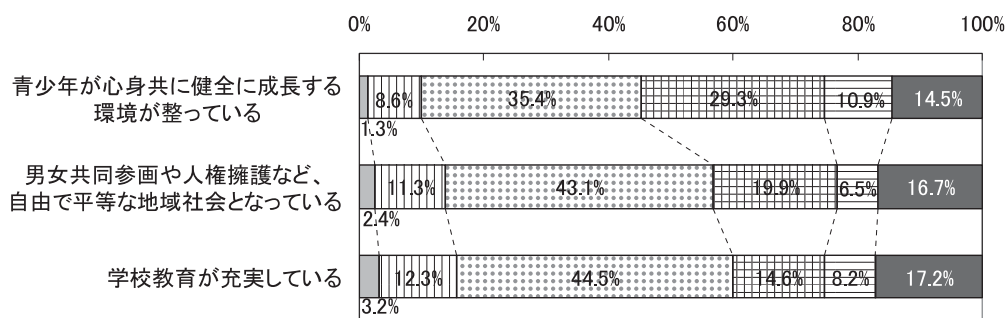
めざすまちの姿や暮らしの状態

生涯にわたって豊かな人間性をはぐくまれ、あらゆるいのちと人権が尊重された平和な社会が築かれています。

豊かな人間性を基本として、子ども時代に「生きる力」を身につけ、若者が社会の先駆者として羽ばたき、たくさんの市民が地域の指導的人材、社会に貢献する人材として成長しています。

- 心豊かな人間が形成されている
- 平和・人権意識が浸透している
- 男女共同参画社会になっている
- 生きる力が育成されている
- 個性が伸長されている
- 学ぶ意欲が育成されている
- 教育機能が向上されている

●【人間力】に関連する項目の満足度●



■そう思う □ややそう思う ▨ふつう ▩あまりそう思わない □そう思わない ■わからない

注) 四捨五入の関係で、合計が100%にならない場合がある。

資料：平塚市市民意識調査（平成16年度）

基本施策

1. いのちを大切にする心もち、社会性や規範意識を身につける環境をつくる

- ◆家庭・地域・学校（教育関連機関）との連携を強め、子ども時代から規範意識や道徳心を身につける教育を進めます。
- ◆健全な青少年育成のため、地域活動や社会体験を通じたリーダー育成、国際交流・自然学習などを進めるとともに、非行防止や相談活動を充実します。

【個別施策】

- 1 家庭・地域・学校との連携推進
- 2 教育関連機関との連携推進
- 3 青少年活動の推進
- 4 青少年育成体制の充実
- 5 道徳教育の推進

2. 平和・人権に関する意識啓発を推進する

- ◆核兵器廃絶平和都市宣言*の理念に基づき、平和意識の普及・啓発に努めるとともに、人権擁護のための相談体制の充実、街頭キャンペーンや講演会などによる人権意識の高揚を図ります。

【個別施策】

- 1 平和意識の普及・啓発
- 2 人権意識の高揚



チャレンジキャンプ

3. 男女共同参画意識を高める

- ◆学習講座、学校教育、情報発信などを通じて、性別による固定的な役割分担意識の改革、男女平等の意識づくり、人権を尊重する環境づくりを進めます。
- ◆平塚市男女共同参画推進協議会の意見を尊重し、行政機関や企業、地域組織など様々な分野で男女共同参画を進め、多様な生き方を選択し、個人の資質・能力を発揮できる社会環境を整えていきます。

【個別施策】

- 1 男女共同参画社会に向けた意識改革
- 2 あらゆる分野における男女共同参画の推進
- 3 女性に対するあらゆる暴力の根絶と人権の尊重
- 4 男女共同参画社会の実現に向けた市の積極的な取組み



市民広島派遣



夏休みこども環境教室（海編）

4. 子ども時代に生きる力を 身につける環境をつくる

- ◆いじめ・不登校などの教育問題に対して、連絡体制の強化や研修体制の整備、スクールカウンセラー※の配置などにより、指導・相談体制を充実します。
- ◆学校・市民・企業・市の連携を強めて、家庭や地域の教育力を高めるとともに、子どもが健全な生活習慣や自律心（自立・自発）を身につけ、自ら学ぶ意欲・働く意欲をもてる環境をつくります。

【個別施策】

- 1 指導・相談体制の充実
- 2 生きる力の育成

5. 基礎的な学力を身につけ、 個性を伸ばす教育を充実する

- ◆教職員の指導力を高めながら、知識や技能の習得とともに、ひとや自然、芸術などとのふれあいによる豊かな心の育成、環境問題や国際化に対応した特色ある教育活動を進めます。
- ◆児童・生徒それぞれの個性を把握し、特色ある学校づくり、学校運営の充実を図るとともに、学習形態の工夫や学習内容を充実します。

【個別施策】

- 1 教育内容の充実
- 2 学校運営の充実
- 3 個に応じた教育の推進

6. 教育施設・機能を整備・充実する

- ◆児童・生徒が安心して学校生活を送ることができるよう、教育施設・設備を整備・充実します。
- ◆教育課程の実施に必要な教材・教具を充実します。

【個別施策】

- 1 教育施設・設備の整備・充実
- 2 教材・教具の充実

主な事業 <人間力>

- ◆生きる力をはぐくむ教育の推進
(基本施策4—個別施策2)
- ◆隣接校解消のため、相模小学校の移転推進
(基本施策6—個別施策1)
- ◆小・中学校体育館の整備
(基本施策6—個別施策1)



パソコンの授業風景

市民と市の役割

◆市民◆

- 地域・学校行事への積極的な参加
- 子どもの地域活動支援
- 地域の青少年団体や青少年健全育成行事への参加
- 親子のふれあいの充実
- 子どもの体験活動の充実
- 平和の大切さについて家族で考える
- 人権について理解を深める
- 男女共同参画に関する意識の醸成
- 地域ぐるみで子どもを育成
- 子どもの自主的な取組みへの協力
- 大人と子どものコミュニケーションの推進

◆市（行政）◆

- 地域に開かれた学校づくり
- 幼・小・中の連携の推進
- 青少年健全育成活動実施及び拡充
- 学校における道徳教育の推進
- 子どもによる奉仕活動の推進
- 平和事業の推進
- 人権啓発事業の推進
- 男女共同参画社会の形成に向けた職員・市民・事業者への意識啓発の充実
- 教育問題の解決に向けた連絡組織体制の強化や研修体系の整備
- 情報提供と自主的な活動の支援
- 学習面・生活面への支援補助体制の充実
- 学校教育施設の良好な環境の維持
- 自ら学ぶことのできる学習環境の推進

施策の体系

達成方針1-①<人間力> 一人一人の心のやさしさ、学ぶ意欲、生きる力をはぐくむ

●基本施策●

1. いのちを大切にできる心を持ち、社会性や規範意識を身につける環境をつくる

2. 平和・人権に関する意識啓発を推進する

3. 男女共同参画意識を高める

4. 子ども時代に生きる力を身につける環境をつくる

5. 基礎的な学力を身につけ、個性を伸ばす教育を充実する

6. 教育施設・機能を整備・充実する

●個別施策●

- 1 家庭・地域・学校との連携推進
- 2 教育関連機関との連携推進
- 3 青少年活動の推進
- 4 青少年育成体制の充実
- 5 道徳教育の推進

- 1 平和意識の普及・啓発
- 2 人権意識の高揚

- 1 男女共同参画社会に向けた意識改革
- 2 あらゆる分野における男女共同参画の推進
- 3 女性に対するあらゆる暴力の根絶と人権の尊重
- 4 男女共同参画社会の実現に向けた市の積極的な取組み

- 1 指導・相談体制の充実
- 2 生きる力の育成

- 1 教育内容の充実
- 2 学校運営の充実
- 3 個に応じた教育の推進

- 1 教育施設・設備の整備・充実
- 2 教材・教具の充実

成果指標

指標	現状値	5年後の 目標値	10年後の 目標値	備考
		【平成 23 年度】	【平成 28 年度】	
地域の教育ボランティアの 人数（年間）	3,209 人	3,300 人	3,400 人	担当課資料（平成 18 年度） 家庭・地域・学校との連携の度合 いを示す
「青少年が心身共に健全に 成長する環境が整っている」 と感じている市民の割合	9.9 %	20.0 %	30.0 %	市民意識調査（平成 16 年度） 青少年の育成環境に対する市民意 識を示す
平和事業への参加者数 （年間）	4,514 人	6,200 人	6,900 人	担当課資料（平成 18 年度） 平和に対する意識の高まりを示す
人権事業への参加者数 （年間）	863 人	1,100 人	3,000 人	担当課資料（平成 18 年度） 人権に対する意識の高まりを示す
「男女共同参画や人権擁護 など、自由で平等な地域社会 となっている」と感じている 市民の割合	13.7 %	16.0 %	18.0 %	市民意識調査（平成 16 年度） 男女共同参画などに対する市民意 識を示す
不登校児童の出現率	0.52 %	0.47 %	0.42 %	担当課資料（平成 18 年度） 指導・相談体制の成果を示す
不登校生徒の出現率	3.61 %	3.3 %	3.0 %	
「学校教育が充実している」 と感じている市民の割合	15.5 %	25.0 %	33.0 %	市民意識調査（平成 16 年度） 学校教育の充実度に対する市民意 識を示す



授業風景



市民平和の夕べ

生涯学習や文化などを通じ、豊かな感性をはぐくむ

現状と課題

- 芸術・文化・スポーツ・レクリエーションなどに対する関心の高まりにより、市民一人一人のニーズへの対応が求められています。
- 地域の歴史や文化、様々な分野の文化人の足跡を掘り起こし、多様な形態での文化への親しみ方を提案し、文化施設の有効活用や市民の参加を進めるなかで、平塚独自の文化を再認識し、創造し、そして伝えていく心と感性をはぐくんでいくことが求められています。
- 地域の伝統文化を保護・保存し、継承していくことが求められています。

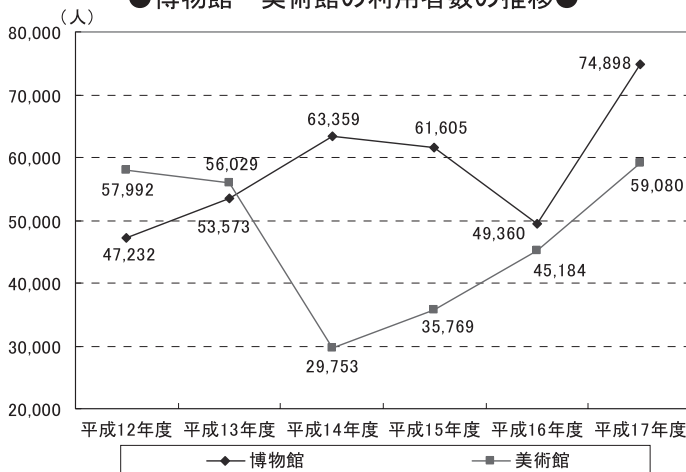
めざすまちの姿や暮らしの状態

子どもから高齢者まで様々な世代の市民が、学ぶこと、スポーツ・レクリエーションを楽しむことに喜びを感じ、それぞれの興味・関心に応じて意欲をもって取り組んでいます。

市民は、学習・スポーツ・レクリエーション活動を通じて、芸術や郷土文化を深く理解し、新しい文化を創造する感性や新しいことにチャレンジし、自分の夢を実現する力を蓄えており、心豊かで充実した暮らしをおくっています。

そして、平塚の歴史や文化を深く理解して郷土愛をもっており、あらゆる分野で社会貢献*や文化の発展に力を尽くす人材として成長しています。

●博物館・美術館の利用者数の推移●



資料：平塚市統計書

- 学習・スポーツ・レクリエーションを楽しむ心の豊かさがある
- 質の高い芸術・文化を追求する心のゆとりがある
- 個性ある平塚の郷土文化を感じる心の幸せがある
- 文化財を守り伝える心のやさしさがある



須賀公民館ふれあいまつり

基本施策

1. 生涯にわたる学習・スポーツ・レクリエーションを楽しむ環境を充実する

- ◆ 学習情報や発表の場の充実、人材育成などにより、様々な学習活動を支援するとともに、学習機会を充実します。
- ◆ 自分の体力に応じて気軽に楽しめるスポーツを普及し、健康づくりを促進します。
- ◆ 湘南ベルマーレとのふれあいや交流など、市民が生涯にわたってスポーツ・レクリエーションを親しめる環境を充実します。
- ◆ 指導者の育成や、学校・民間施設の活用などによってスポーツ・レクリエーションを楽しむ環境を充実します。

【個別施策】

- 1 生涯学習活動の推進
- 2 スポーツ・レクリエーション活動の充実
- 3 スポーツ・レクリエーション振興体制の充実
- 4 スポーツ・レクリエーション施設の活用



湘南ベルマーレとの交流

2. 優れた芸術・文化を鑑賞する機会を充実する

- ◆ クラシックコンサートや伝統芸能・演劇など優れた芸術・文化を鑑賞する機会を充実します。
- ◆ 優れた美術作品、歴史的価値のある資料、文化財と常設展示を充実させるとともに、博物館や美術館の企画展・特別展示などを充実します。

【個別施策】

- 1 芸術・文化鑑賞機会の充実
- 2 博物館展示活動の充実
- 3 美術館展示活動の充実



美術館の展示



博物館の展示

3. 幅広い芸術・文化活動を普及・促進する

- ◆文化活動団体の育成など、文化活動の普及・促進とともに、囲碁によるまちおこしなど平塚の新しい文化の創造に努めます。
- ◆身近な学校・公民館における芸術・文化活動の専門的な指導、指導者としての地域の人材の活用、学校教育との連携により、市民の芸術・文化活動の幅を広げていきます。
- ◆芸術・文化施設においては、経営感覚を活かして、歴史・文化の学習、野外での環境学習、科学への関心を高める活動やワークショップ※、ひとつのテーマから多面的な関心を引き起こすイベントなどを企画します。
- ◆自由で気軽に芸術・文化活動に取り組める環境と場所をつくりまします。

【個別施策】

- 1 芸術・文化活動の充実
- 2 博物館教育普及活動の充実
- 3 美術館教育普及活動の充実
- 4 図書館活動の充実



囲碁入門教室

4. 価値ある歴史的遺産を 守り伝える環境をつくる

- ◆郷土意識を啓発・醸成するため、固有の歴史や文化財の調査・研究を進め、成果の公開・活用を進めます。
- ◆郷土芸能の継承・保存に向けて調査を進めるとともに、保存・公開のための施設の整備、イベントの開催、後継者の育成などを進めます。

【個別施策】

- 1 歴史・文化財の調査・研究・公開・活用の推進
- 2 郷土芸能の調査・公開・後継者の育成

主な事業 <感性>

- ◆囲碁によるまちおこしの推進
(基本施策3—個別施策1)
- ◆歴史的建造物の保存・活用
(基本施策4—個別施策1)



相模人形芝居前鳥座

市民と市の役割

◆市民◆

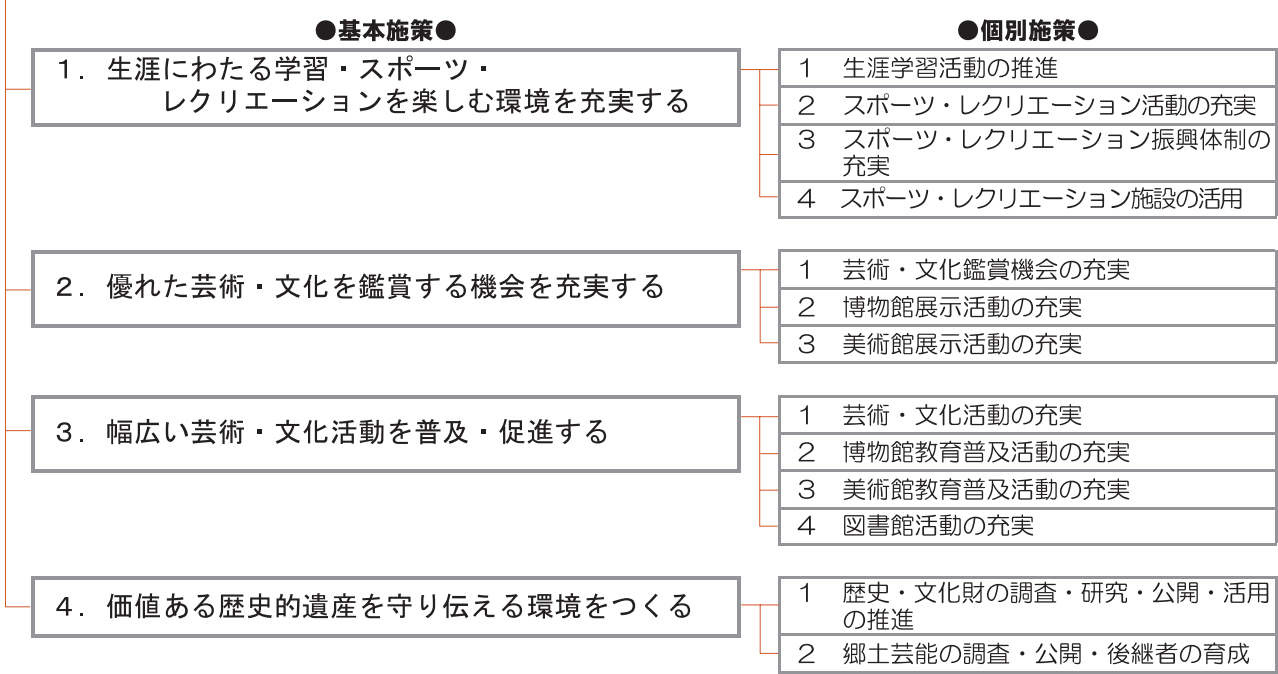
- 自己を高める生涯学習の実践
- 生涯学習成果を活かした地域活動への取り組み
- スポーツ・レクリエーション・イベントへの参加
- 生涯スポーツへの理解と関心を深める
- 芸術・文化の鑑賞・創作・表現活動への参加
- 芸術・文化活動への参加を通じた平塚らしさのある文化の醸成
- 余暇時間の有効活用
- 歴史・文化財・伝統文化の理解と保存と継承
- 地域の歴史・芸術・文化を大切にする意識の高揚

◆市（行政）◆

- 生涯学習講座及び指導者などの情報提供
- 生涯学習成果の発表機会などの拡充
- 誰でも親しむことができる生涯スポーツなどの推進
- スポーツ活動が円滑に進むための調整
- 芸術・文化に関する情報の発信
- 芸術・文化に関する活動の支援活性化
- 図書を整備・貸出し・自主事業の実施
- 歴史・文化財・伝統文化の調査・意識啓発・保存と継承の支援

施策の体系

達成方針1-②<感性> 生涯学習や文化などを通じ、豊かな感性をはぐくむ

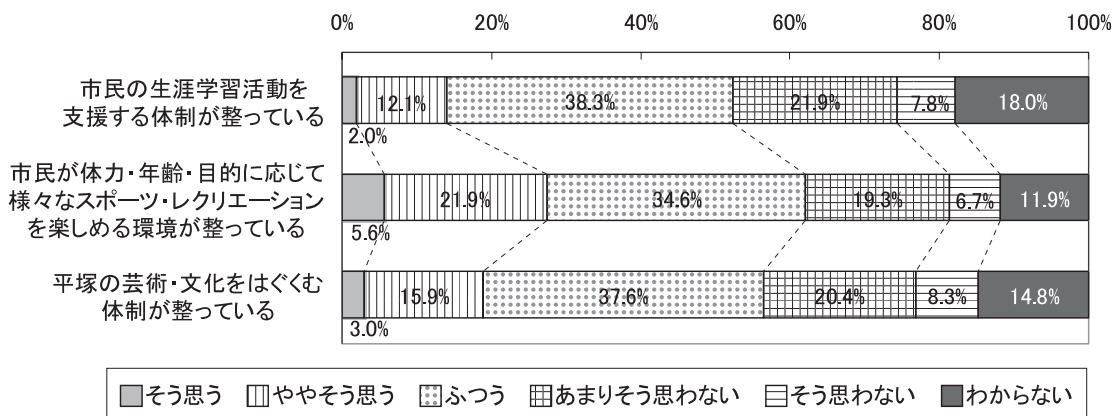


成果指標

指標	現状値	5年後の 目標値	10年後の 目標値	備考
		【平成 23 年度】	【平成 28 年度】	
「市民の生涯学習活動を支援する体制が整っている」と感じている市民の割合	14.1 %	18.0 %	23.0 %	市民意識調査（平成 16 年度） 生涯学習環境の充実度に対する市民の意識を示す
「市民が体力・年齢・目的に応じて、様々なスポーツ・レクリエーションを楽しめる環境が整っている」と感じている市民の割合	27.5 %	40.0 %	50.0 %	市民意識調査（平成 16 年度） スポーツ・レクリエーションを楽しめる環境の充実度に対する市民の意識を示す
「平塚の芸術・文化をはぐくむ体制が整っている」と感じている市民の割合	18.9 %	23.0 %	38.0 %	市民意識調査（平成 16 年度） 芸術や文化を大切にする体制の充実度に対する市民意識を示す
博物館利用者数（年間）	74,898 人	78,000 人	86,000 人	平塚市統計書（平成 18 年版） 博物館の教育活動・展示活動の充実度を示す
美術館利用者数（年間）	59,080 人	65,000 人	80,000 人	平塚市統計書（平成 18 年版） 美術館の教育活動・展示活動の充実度を示す
図書館の蔵書冊数	802,266 冊	870,000 冊	1,000,000 冊	担当課資料（平成 18 年度） 図書館の充実度を示す
市民一人当たりの図書などの貸出点数（年間）	6.07 点	7.0 点	7.5 点	担当課資料（平成 18 年度） 図書館図書などの充実度を示す

注） 公共施設などの指標については、「利用者数」で統一しています。

●【感性】に関連する項目の満足度●



注） 四捨五入の関係で、合計が 100%にならない場合がある。

資料：平塚市市民意識調査（平成 16 年度）

ひと・文化の活発な交流が広がる環境をつくる

現状と課題

- 市民と大学・高校・企業との、文化・生涯学習、スポーツ、福祉、環境など各分野での交流が求められています。
- 文化・スポーツ・産業など幅広い分野で市民主体の国際交流や都市間交流により、市民文化を高めるとともに、地域に活力を与えていくことが求められています。
- 国際化が進展するなか、国際交流の機会を通じて市民の豊かな国際感覚の醸成が求められています。



国際交流フェスティバル

めざすまちの姿や暮らしの状態

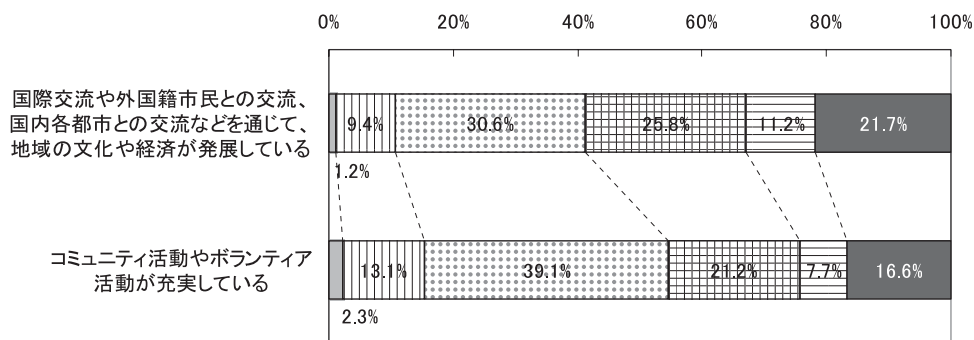
学術・文化・スポーツなどを通じて、市内外から様々な価値観、能力、関心をもった人、団体、企業、学術研究機関が集い、平塚を舞台にして活発に交流しています。

互いに知識や経験、技術をもちより、力を合わせることによって、それぞれの理解が深まり、市から全国、世界へと連携が広がっています。

そして、市民や地域の活動団体が自らの創造力・行動力を高め合い、文化・生涯学習、スポーツ、福祉、環境、技術開発などの活性化が進み、市民の豊かな暮らしや地域課題の解決、地域経済の活性化に役立っています。

- 市民と大学・高校・企業との盛んな交流のあるまちになっている
- 活発な人間・都市間交流により、開かれたまちになっている

●【交流】に関連する項目の満足度●



■そう思う □ややそう思う ▨ふつう ▩あまりそう思わない ○そう思わない ■わからない

注) 四捨五入の関係で、合計が100%にならない場合がある。

資料：平塚市市民意識調査（平成16年度）

基本施策

1. 学術・文化・スポーツなどを通じた市民の交流活動を推進する

- ◆地元大学・高校や企業による情報発信、地域活動への参加、多様な社会貢献活動の展開などにより、学術・文化・スポーツなどを通じた市民との交流活動を進めます。

【個別施策】

1 地元大学・高校や企業との交流



ローレンス市との交流



まつりを訪ねる市民ツアー（高山市）



交流キャンプでのわんこそば（花巻市）

2. 地域の文化をお互いに理解し、活発な交流を進める

- ◆ローレンス市（米国）との交流を中心として、市民主体の交流活動を推進するとともに、新たな都市との国際姉妹都市提携をめざします。
- ◆友好都市（岐阜県高山市・岩手県花巻市）や市民休養の郷※（静岡県伊豆市）を始めとして、産業・文化・スポーツなど幅広い分野にわたる都市間交流を進めます。
- ◆市民レベルの草の根の交流※や地域における外国籍市民との交流を進め、いろいろな国、地域などの異文化を理解するとともに、豊かな国際感覚をもった人材を育成していく機会を提供していきます。

【個別施策】

- 1 国際交流活動の推進
- 2 友好都市交流の推進
- 3 外国籍市民との交流の推進

主な事業 <交流>

- ◆市民・大学交流の推進
(基本施策1-個別施策1)
- ◆国際交流活動の推進
(基本施策2-個別施策1)
- ◆外国籍市民との交流の推進
(基本施策2-個別施策3)

市民と市の役割

◆ 市民 ◆

- 様々な交流の場への参加
- 事業者・大学などへの呼びかけ
- 姉妹都市などに対する意識を深める
- ホームステイへの参加と受入れ
- 外国籍市民への理解を深める
- 外国籍市民のためのボランティア活動参加

◆ 市（行政）◆

- 様々な交流事業への支援、協力
- 姉妹都市などの理解を深めるための啓発
- 交流機会の提供
- ホームステイ体験の促進
- 大学の交流プログラムへの協力

施策の体系

達成方針 1—③<交流> ひと・文化の活発な交流が広がる環境をつくる

●基本施策●

1. 学術・文化・スポーツなどを通じた市民の交流活動を推進する
2. 地域の文化をお互いに理解し、活発な交流を進める

●個別施策●

- 1 地元大学・高校や企業との交流
- 1 国際交流活動の推進
- 2 友好都市交流の推進
- 3 外国籍市民との交流の推進

成果指標

指標	現状値	5年後の 目標値 【平成 23 年度】	10 年後の 目標値 【平成 28 年度】	備考
「国際交流や外国籍市民との交流、国内各都市との交流などを通じて、地域の文化や経済が発展している」と感じている市民の割合	10.6 %	18.0 %	20.0 %	市民意識調査（平成 16 年度） 地域（国の内外）を問わない交流の高まりに対する市民意識を示す
「コミュニティ活動 [※] やボランティア活動が充実している」と感じている市民の割合	15.4 %	25.0 %	30.0 %	市民意識調査（平成 16 年度） 市民活動の高まりに対する市民意識を示す
平塚市民・大学交流委員会主催事業への参加者数（年間）	16,545 人	16,800 人	17,000 人	担当課資料（平成 18 年度） 市民と大学による交流事業の充実の度合いを示す
姉妹都市市民や外国籍市民との交流会やホームステイへの参加者数（年間）	261 人	300 人	300 人	担当課資料（平成 18 年度） 国際交流活動に対する市民意識の高まりを示す
交流イベントや国際理解講座への参加者数（年間）	3,634 人	3,900 人	4,200 人	担当課資料（平成 18 年度） 外国籍市民との交流に対する市民意識の高まりを示す
日本語教室の受講者数（年間）	154 人	200 人	250 人	担当課資料（平成 18 年度） 地域にとけこもうと努める外国籍市民の意識の高まりを示す